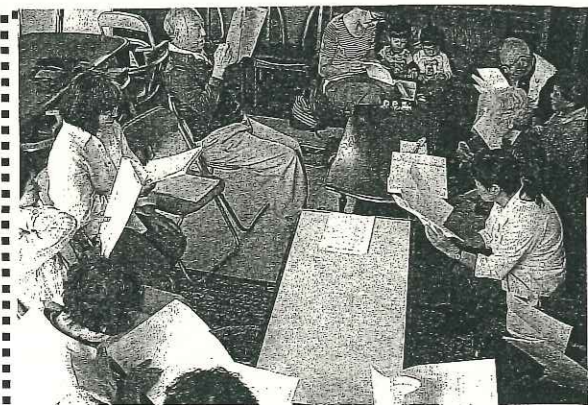


佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

| | | | |
|------|--------------|------|------------|
| | | 評価日 | 2017年3月31日 |
| 団体名 | 佐久の縁が和(輪)ぽっこ | | |
| 事業名 | 佐久の縁が和(輪)ぽっこ | | |
| 対象経費 | 232,819円 | 支援金額 | 54,000 |

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・内容 | 目的 ①地域に居場所をつくることにより、みんなで支えあう地域力を高める。②気軽に「居場所」に参加することで、いろいろな縁が生まれ、理解しあって共に成長ができる。③声をかけ合うことで引きこもり予防になり、心の健康の保持・増進をめざす。④学習会、教育や文化のDVD上映など学ぶ機会を増やし、地域の交流を促進する。⑤本会議で得た情報を発信し、市内に広がるように協力をする。 |
| | 内容 毎週日曜日の午前中、地域の居場所として「えんがわぽっこ」を開いている。4～11月は午前9時から11時半、12～3月は午前9時半～11時半(盆・年末年始休み)。前半は、参加者の学びたいテーマに沿って深め合い、後半はお茶を飲みながら交流し、みんなで楽しく支えあえるように努めている。 |

| | |
|---------|---|
| 事業の活動実績 | 毎週開く「えんがわぽっこ」の内容は、山下新聞店発行の「かわら版」にて毎月臼田と野沢地区全域に伝えられていることから、だんだん市民に広がってきており参加者は昨年の560人から622人と62人増えた。補助金対象外事業ですが、更に昨年10月「うすだ健康館」開所に伴い、こちらでも「えんがわぽっこ特別版」として毎月実施している。 企画した内容。<4月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・食生活を見直そう・福島原発事故5年の現状・歳をとるってどんなこと?<5月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・認知症革命①分かった予防への道・認知症革命②なってもその人らしく過ごす・「いのちの不思議な物語」を学ぶ<6月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・世界一貧しい大統領の生き方学ぶ・「ツレがうつに…」DVD上映・快眠するには?<7月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・2周年記念伊澤院長講演・高峰高原ハイキングと菱野温泉入浴・生きてきて楽しかった事を語り合う・ツボ叩き体操を学ぶ<8月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・若月先生の平和への想いを学ぶ・暑い夏”汗の役割”を学ぶ<9月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・佐藤豊さん①少年時代語る・佐藤豊さん②社会人時代語る・アッと驚く”タッチケア”学ぶ<10月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・森林セラピー体験と春日温泉入浴・佐藤豊さん③つづらおり人生語る・中村医師アフガンの生活DVDで学ぶ・快便と快尿を学ぶ<11月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・ハーブ演奏を聴こう・自分で出来る体のほぐし方・ダウン症書家金沢さんの生き方学ぶ<12月>・えんがわ歌声喫茶で楽しく歌おう・昔ばなし語り部の会・医食同源の大切さ学ぶ・インフルエンザの話。・・・ |
|---------|---|



2歳10カ月の双子から88歳までの15人が和気あいあいと歌声



春日の森で森林セラピー体験した仲間たち

| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | ①「居場所」として、だんだん地域の理解が広まり参加者が増えている(1回平均参加者は前々年度10,7人、前年度13,3人、今年度14,6人)。②住み慣れた地域で最期まで暮らすには、「こういう励ましあって楽しく過ごせる所」が必要である。③居場所に参加することで淋しさが解消され、またいろいろなことが学べて生きがいの一つになっている。④多くの人とふれあえ、楽しい場所となっている。⑤”市民が主役の居場所”はまだ少なく、シニア大学受講生や市民活動サポートセンター100人委員会参加者及び他の地域からの見学者もある。参加者の声。 「これまでこんなに楽しい学習やふれあいをしたことがない」「日曜が早く来ないかと待っている」「当日参加して学び、その夜配られた資料でおさらいと2回楽しんでいる」「ここを知るまで淋しかったが、知ってからは別の人生になった」「ぽっこの人たちは良い人ばかりで、1週間分の元気の蓄積ができる」「ぽっこへの入学で、楽しい人生を見つけたよ」等々。これからも、参加者同士で知恵とズクを出し合い、支えあえる関係や地域づくりをすすめていきたい。 |
|----------|---|

| | |
|----------------------------|--|
| 事業は申請どおり実施できた | ○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ) |
| 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | ○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ) |
| 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | ○1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) |
| その他、評価すべき点等 | |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | ”市民が主役”の居場所を徹底していくには、企画し実践する「運営委員」を増やすことが必要で、参加者全員の運営委員が理想であり追求していきたい。昨年度に引き続き講演依頼は、5月県シニア大学、6月臼田地域包括ケア協議会、9月信州宮本塾、今年2月県厚生連病院労組の地域ケア分科会など。今後、市内にもっと居場所が広がるよう発信していき、ささやかながら協力をしていきたい。 |
|---------|--|